



今月は
石田朋久 隊員

地域おこし協力隊が行く



四万十町では4人の地域おこし協力隊員を採用しています。
毎月、隊員の活動レポートをお届けします！

四万十町の皆さん、はじめまして。
7月から地域おこし協力隊としてやって来ました 石田 朋久です。
昭和42年3月3日生まれの46歳。大阪府堺市で生まれ育って、今回初めて引っ越しというのを経験しました。

今まで全く知らなかったこの四万十町に移住するにあたり多少の不安はありましたが、来てみるとそんな不安は吹き飛ぶぐらいの素晴らしい出会いがたくさんありました。本当に来て良かったと思っています。

さて、着任した初日に担当する地域を案内していただきました。自分は十和地域を担当するので四万十町全部を回ったわけではないけれど、行っても行っても四万十町なんですね。こっちに来る前から何度も地図を見てイメージはできていたのに、この町の広さに驚きました。

6月24日に引っ越してきてからしばらく雨の日が続きましたが、梅雨が明けて七夕

には何十年ぶりかで肉眼で天の川を見ることができて感激しました。

朝は鳥の声で目が覚めて、夕方仕事から帰るとヒグラシが鳴いていて、川の音を聞きながら眠りにつくといった都会では経験できない贅沢な心地良さを、多くの人に体験してもらいたいですね。

こんな新人協力隊員ですが、広い四万十町を隅々まで走り回って皆さんに会いに行きます。

ノリがいいと言われる大阪人ですから、気軽に声を掛けてくださいね。



渡邊

土谷

立岡

石田

ハヤル通信



皆さん、こんにちは。今日は日本に来て不思議に思ったことについて書きます。まず、レストランでタバコを吸えることが不思議でした。ニュージーランドから来た私にとっては信じられないことです。ニュージーランドではレストランや病院、大学などの建物の中はもち

ろん、公園や道路で吸うのも違法です。

そして、衣替えです。皆さんは、夏になったら半袖とか夏の服に入れ替えたりすると思いますが、ニュージーランドにはそのような習慣はありません。ニュージーランドは天気がよく変わりますので、夏でも寒い日がありま

す。また、日本より服を入れる押入れが大きいので、特に衣替えをする必要がありません。

結婚式や葬式にお金を渡す習慣も不思議です。欧米では、現金よりプレゼントや花をあげます。また、トイレで手を洗った時、ペーパータオルがないのも不思議でした。外国ではほとんどハンカチを使いません。特に手を洗った後で、ハンカチで手を拭くのは日本独特の習慣とも言えます。また、欧米では日傘を差す習慣もありません。

皆さんも、外国の習慣で不思議に思ったことはありますか。



【お問い合わせ先】生涯学習課

☎22-3576